

令和6年度全国広報担当者会同（電子会議）報告書

令和7年3月6日（木）

広報部長 諸喜田 秀和

令和7年3月6日午後2時から5時にかけて、ZOOMにて令和6年度全国広報担当者会同（電子会議）が開催されました。

会議は連合会佐々木副会長の開会挨拶で始まり、土地家屋調査士広報コンテストの受賞会の発表と活動報告がありました。

受賞会の活動報告

大賞受賞会（静岡会）

静岡会は、出前授業やインターンシップを実施し、生徒へのアンケート結果を数値化することで土地家屋調査士の認知度向上を示しました。そしてメディアへのプレスリリースを通じてテレビ取材を受けるなど、広報活動が成果を上げました。

また、境界シンポジウムでは、共催に連合会、公嘱協会、後援に法務局、県、市、協力に新聞社、テレビ局と、多くの機関と連携して大規模な取り組みを行いました。

優秀賞受賞会（滋賀会）

滋賀会は、イオンモールのイベントに参加して「キッズお仕事体験」を開催し、広報活動を展開しました。地籍シンポジウムでは記者クラブへプレスリリースを出し、新聞に取り上げられるなど、メディア露出の機会を増やしました。

特別賞受賞会（東京会）

東京会は、学生や資格取得を目指す人を対象としたガイダンスを開催しました。大学、受験指導校、専門学校、職業訓練校を中心に広報活動を行い、HPやSNSを活用した情報発信にも注力しました。

連合会広報部との意見交換会

後半は4グループに別れて、連合会広報部との意見交換会が行われました。連合会と各単位会との連携についての意見交換があり、連合会からは連合会が作成したポスターを活用し、広報活動を推進してほしいとの要請がありました。

以上、令和6年度全国広報担当者会同（電子会議）の報告といたします。